

令和 8 年 6 月 24 日

議会議長 鈴木 晴範 様

総務建設委員会
委員長 兵藤 慎一

閉会中における所管事務調査についての報告

函南町議会会議規則第 77 条の規定により、次のとおり報告いたします。

記

- 1 開催日時 令和 8 年 4 月 28 日（火）午前 9 時 00 分
- 2 委員の出席状況 委員 7 名出席（1 名欠席） 議長出席
- 3 調査事項

(1) 上水道事業の現状と料金改定について

上水道事業の現状と料金改定について説明を受けた。

令和 7 年度に水道事業審議会を開催し、その中で算出した投資財政シミュレーションでは、水需要の減少に伴う料金収入の減少に加え、物価高騰に伴う電気料金及び人件費並びに施設の老朽化に伴う修繕費の増加等が影響したことにより、現在の料金体系のままだと、令和 11 年度に現金資金が枯渇する懸念があるとの結果であった。

また、事業にかかる経費を料金収入でどの程度賄えているかを示す指標である料金回収率は、令和 5 年度まで 100%以上で推移していたが、令和 6 年度は 91%、令和 7 年度は 86%となっており、厳しい経営状況となっていることを確認した。

そのため、健全な経営を維持し、将来世代への負担を軽減させるためには水道料金の改定が必要であり、料金算定期間である令和 8 年度から令和 10 年度までの 3 年間の料金回収率 110%を維持するため、料金改定率として 41.6%の値上げが妥当である旨

の水道事業審議会からの答申を受け、町としてもこの答申の内容に沿って料金改定を進める計画であるとの説明を受けた。

安全な水道水の供給を実施するために、料金改定が必要であることは理解できるが、現在、町民の生活は世界的な物価高の影響を受け非常に厳しい状況にあることから、町民の理解が得られるよう丁寧な説明及び周知を実施したうえで慎重な対応に努めるとともに、将来的に国費の活用等の検討を進めるよう努められたい。

(2) 伊豆エメラルドタウン函南町エリアの水道事業について

伊豆エメラルドタウン函南町エリアの水道事業の完全公営化に向けた進捗について説明を受けた。

水道事業の完全公営化に向けては、これまで複数の案による検討を進めていたが、函南エメラルド区単独で事業運営をしていく方針とし、完全公営化に向けて準備を進め、最短で令和10年4月から事業をスタートできるよう事業認可の取得等の手続きを進めていくとのことであった。

函南エメラルド区単独で事業運営を実施する場合、経営規模が最も小さくなり、安定した経営を実施するためには、料金設定に与える影響が大きくなることが想定される。

完全公営化に向けては、地元住民や別荘地として利用する方へ必要に応じて丁寧な説明会を開催するなど理解を得ながら進めるとともに、利用者負担を少しでも軽減できるよう検証し、伊豆エメラルドタウン管理組合と函南エメラルド区と連携して事業を進めるよう努められたい。

(3) 消防団第2分団詰所について（現地視察）

令和8年1月末に消防団第2分団詰所建替工事が完了したことから完成状況について現地視察を行った。

現地では消防ポンプ車、備品等の格納状況や2階の消防団員の打合せ、休憩スペース、自動でホースを引き上げることができるホースタワー及びソーラーパネルの設置状況を視察し、消防団員の活動環境が整備されていることを確認した。

町民の生命、財産を守るため消防力の向上に加え、近年各地で発生し甚大な被害をもたらした山火事もあり、消防団員の確保を含めた環境整備に引続き努められたい。